

令和6年度 栃木支部冬山山行・新年会

- 1 期日：令和7年1月19・20日
- 2 場所：那須塩原市 鶏頂山（1765m）・日留賀岳（1849m）新年会会場：塩原温泉明賀屋本館
- 3 日程コース
1月19日 鶏頂山登山
塩原温泉明賀屋にて新年会
1月20日 1班：日留賀岳登山
2班：塩原散策
- 4 鶏頂山・日留賀岳登山参加者：渡辺 雄二・高野 正道・鬼頭 秀夫・仲島 正子・林 祐寿・荒井 理 以上6名
塩原散策参加者：菱田 克彦・鈴木 清一（ゲスト）・上田 景子（ゲスト） 以上3名
新年会参加者：鶏頂山・日留賀岳登山6名、塩原散策3名に加え
後藤 尚・増渕 仁一・君島 敏明・新本 政子（ゲスト）・新本 孫宏（ゲスト）以上14名
- 5 行動概要

1月19日（日） 晴れ

藤原登山口（9：40）～鶏頂山（12：20～13：00）～登山口（14：20）下山後車で旅館へ移動
塩原温泉明賀屋にて新年会・宿泊

支部冬山一日目は日塩もみじライン沿いにある藤原登山口に二台の車に分かれて集合するが、予定していた駐車場が除雪されておらず、仕方なくスコップで雪かきをして駐車スペースを確保してから登山準備を始める。この時期は西口登山口の駐車スペースしか利用できならしく、6～7台の駐車場はすでに満車だった。鳥居をくぐり登山道に入るが、こちらの登山口からはあまりトレースが無く、西口登山口からの道と合流するまではかるいラッセルとなる。合流後はしっかりと踏み固められた歩きやすい雪道となった。エーデルワイススキー場が見えるなだらかな道を進み、途中の開けた場所からは日光連山がきれいに眺めることができる。標高1,517mの分岐を過ぎると急登が始まり、稜線へ出ると釈迦が岳との分岐となる。更に急となる道を登りきると山頂に着く。山頂には他に二人の登山者しかおらず、多くの方は釈迦が岳へ向かったらしい。天候も良く、やや樹林に視界を邪魔はされるが、日光や那須の山から飯豊連峰など遠くの山々まで見渡すことが出来た。山頂で記念撮影と休憩の後下山、その後宿泊先に移動する。

今回お世話になる塩原温泉明賀屋本館は栃木支部会員である君島さんが経営する旅館で、溪谷沿いに建てられた最深部には目の前に川が流れる露天風呂があり、夕食前に楽しむことができた。88段の階段を下りて辿り着くこの風呂は宴会後の酔った



【歩き始めの樹林帯】



【山頂の神社前にて】

状態では少し危険かと思われる。18 時から新年会となり、ここから合流された方々と贅沢な料理とお酒を楽しみ、それぞれの近況報告などで盛り上がった。

1月20日（月）晴れ時々曇り

1班：日留賀岳登山

明賀屋本館一日留賀岳登山口（8：50）～1514 ピーク手前鳥居（13：00）～登山口（15：30）



【明賀屋本館での新年会】

7：30 から旅館での朝食をいただき、日留賀岳登山と塩原散策班と別行動となる。登山班は朝食を済ませるとすぐに出発し、登山口である白戸集落小山さん宅へ向かう。ここは個人宅の敷地をお借りするかたちで駐車させていただき、庭を



【小山さん宅の駐車場】

通って登山道へ入っていく。車を止めるとちょうどご主人がいらっしゃったのでご挨拶をすることができた。玄関脇の帳面に名前を記入し、手描きの登山地図を頂いて歩き始める。しばらくは雪も無く落ち葉の積もったやや急な登山道を登る。個人的には15年ほど前の夏に一度この山に登ったことはあったが、山頂までは結構遠く、暑さもありつらかった覚えがあるが冬のこの時期は落葉によって視界が開け、歩いていて気持ちがいい。標高903mの鉄塔付近まで来ると雪が見え始め、冬山らしくなってきた。そこから30分ほど林道歩きとなり、林道終点からは日留賀岳の山頂が見える。比津羅山を巻きながら進んで行くと山頂への尾根に取りつく。積雪もひざ下くらいとなり、ラッセルを交代しながら急登を登って行く。1514mの小ピーク手前にある鳥居まで辿り着いた時点で時間は13時、天気も良く山頂も見えてはいるが、下山を考えると頂上を諦めて引き返すことになった。出発時間も遅く、雪の状況を考えればここまで来られたことに満足したい。



【鉄塔付近から積雪が】



【今回の到達点 1500m 付近の鳥居】

二日間にわたり冬山山行を実施し、近くでも中々来ることのない山に好天の中登ることができた。参加していただいた皆さん、そして宿泊でお世話になりました君島さんに感謝申し上げます。

【文責 荒井 理】

2班：塩原散策

大沼公園駐車場（9：15）～大沼散策～ヨシ沼散策～大沼公園駐車場（11：45）

登山班から遅れて宿を発ち、大沼公園駐車場へ向かった。紅葉ラインは雪がなかったが、大沼方面に折れると圧雪路だった。まず足慣らしに平坦な大沼を散策した。朝のうち曇っていたが、だんだん晴れてきて、雪原の向こうに見える新湯富士がきれいだった。また、雪にいろいろな動物の足跡があって、どんな動物か想像するのも面白かった。新湯富士に登ってみたかったが、標高差50mほどのヨシ沼まで行った。季節外れの暖かい日で、あまり踏み固められていない雪の上を久々に歩くことができ、とても満足できた。



【大沼から新湯富士】



【ヨシ沼】

帰り道、塩原名物「スープ入り焼きそば」を食べた。

【文責 菱田 克彦】